

ベタニア たより

社会福祉法人 呉ハレルヤ会 ケアハウス・デイサービスセンター サービス付き高齢者向け住宅
呉ベタニアホーム **呉ベタニアホーム長迫** **ハレルヤ**
 tel:0823-26-8844 tel:0823-23-2003 tel:0823-32-5980



感動のレーナ・マリア コンサート

呉市内・近郊の諸教会が共に祈って、法人を設立しました。設立に向け、何度も役所に行き、申請書を提出するなど、みんなで作りに上げてきました。資金集めにも奔走し、呉ベタニアホーム竣工のために、多くの方々が惜しみなく犠牲を払ってくださいました。また、多額の必要のために、諸教会や地域の皆さまの御支援を賜りました。すでに天に召された方々も居られますが、お一人ひとりの上に、神の豊かなお報いをお祈り申し上げます。

今年は、当法人が設立されて、20周年を迎えました。このことを記念して、5月27日に、呉市文化ホールで、レーナ・マリアコンサートを開催致しました。ご協力を感謝致します。

「人にしてもらいたいのと思うことを人にもしなさい。」 (ルカ 6章31節)

法人設立 20周年を迎えて

理事長 佐藤 孝義

現在、日本では、65歳以上の高齢者の6人に一人、462万人が認知症であると推計されています。8年後の2025年には、65歳以上の高齢者の5人に一人の割合の700万人以上に増大すると見込まれています。

今、認知症予防の取組み「認知症予防カフェ」に、注目が集まっています。「認知症予防カフェ」とは、認知症の方やその家族、認知症に関心のある方や地域の方々の集まりです。専門家による講演や体験型講座を受け、認知症に対する知識やヒントを得て、認知症の予防や緩和を図ることを目的としています。身の周りの生活についても相談できます。

毎月第3木曜日、午後2時から ハレルヤカフェは開催しています。5月のプログラムは、アロマ療法と効果についての講義、音楽療法、最後はデザートでした。音楽療法での、季節の唱歌とエクササイズは、参加者から大変好評を頂いています。これから、多くの方々に参加頂ける「認知症予防カフェ」となりますよう、更に、より良いものにしていくことを考えています。今後、よろしく願います。

ハレルヤ 個別対応デイサービス 回想法を開始して

安藤 栄至

回想法とは、過去の懐かしい思い出を語り合うことで、脳が活性化し、認知機能の改善の効果も期待される心理療法です。利用者のこれまでの体験、歴史を知り、理解を深めることや、心の安定に繋げることを目的に、5月から実施を開始しました。

今回の回想法では、若かった頃の写真、昔のおもちゃの写真など、過去を思い出していただけるような道具を用意し、思い出を語り合っていたきました。最初は、あまり思い出せない様子の利用者も、他の方が思い出すにつれて、「昔、よく遊んでたね」と子ども頃の遊びを、身振り、手振りで教えてくださいます。また、普段あまり輪の中に入れない利用者も、その日はやはり会話が弾み、思い出話に花が咲きます。昔の情景も思い出した様子で、多くの利用者が口々に「懐かしいねえ」と感慨深く、仰っていたのが、とても印象的でした。普段、あまり見られないような、楽しそうな表情で話す利用者を見て、思い出と一緒に共有し、伝えることの大切さを学びました。今後も継続して回想法を行い、利用者が生き生きと過ごせる時間を共有していきたいです。

地域との連携について

呉ベタニアホーム長迫 荒井 勝志

先日、小規模多機能ホームの利用者A様が、自宅から一時行方不明になるということがありました。ご家族に來所いただき、一緒に近所の本通6丁目交番に届け出をしました。私からはA様の日頃の様子や朝の状況を伝えました。一方、事務所のケアマネジャーは、民生委員さんに、行方不明の放送のあることを連絡しました。民生委員さんは、A様の友人宅や、心当たりを捜して下さいました。幸いにも行方不明の放送後、市内を歩いていたA様を、放送を聞いた通行人の方が発見しました。A様は疲れてはいましたが、無事に帰って来られました。

これまで、ご家族とは機会がある度に、電話や面会をさせていただき、民生委員さんには運営推進会議のメンバーとして定期的に來所していただいております。日ごろの関係から連絡を迅速に取り合つことができました。

今回のことをきっかけに、交番のお巡りさんにも、運営推進会議に出席していただく約束ができました。地域との連携の重要性を、再確認した出来事でした。

ハレルヤ 認知症予防カフェ

梅河内 祐作

法人設立後、様々な状況の変化に対応してまいりました。昨年、介護や保育などの施設運営する社会福祉法人の改革策を盛り込んだ、社会福祉法が改正されました。

今回の改正によって、全ての社会福祉法人は定款を変更しなければならなくなり、評議員と理事との兼任はできなくなり、評議員が理事、監事を選任し、評議員の任期は4年、理事・監事の任期は2年となりました。また事業運営の透明性の向上、財政規律の強化、地域における公益的な取組を実施する責務の規定、内部留保の明確化と福祉サービスへの再投下、行政の指導監督機能の強化が行われます。今年度4月1日からの施行のために、昨年から準備を進め、新しい出発をしました。

定款の変更の機会に、長年の懸案であった法人の名称を変更することとなりました。新しい法人の名称は『呉ハレルヤ会』です。

法人の名称変更を悲しく、残念に思われる

方も居られることでしょうか。今回の経緯を説明させて頂きます。これまでの法人名の『政樹会』は、一般には「せいじゅかい」と読まれます。漢字は違いますが、同じ読みが施設が呉市にあります。それで「まさきかい」とフリ仮名を付けなければなりませんでした。

また、神の憐みによって、呉ベタニアホームで始まった事業も、長迫、ハレルヤと施設が増え、働きが拡大してまいりました。このような神の祝福を見ますと、キリスト教施設としての社会的責任、証しの使命の自覚をすることです。いよいよ神の前に遡り、神のみが崇められることを祈り求めて、進むことを示されました。こうしたことから、新しい名称に「ハレルヤ」(ヘブライ語で「神を誉め讃える」という意味)を入れた次第です。

法人設立から20年となりましても、信仰のスピリットは変わりません。初心に帰って、良き証しが立てられるよう、神に祈りつつ、一步一步、さらに前進します。続いて、お祈りとご支援を心からお願ひ申し上げます。

コンサートのために 施設紹介の冊子を作りました。

呉ハレルヤ会の各施設の紹介です。
どうぞご利用ください。



ケアハウス

ラジオ体操を始めました。

5月より、毎週火曜日の昼食前に、ラジオ体操を始めました。



感動の

レーナ・マリアコンサート

去る5月27日(土)、社会福祉法人設立20周年の記念事業として、「レーナ・マリアコンサート」を、呉市文化ホールで開催しました。

開場前から多くの人々が集まり、一階は、ほぼ満席の状態で、招待者席も用意が出来ず、みんな席を譲り合って座っていただきました。入場者は千人近くでした。

午後3時から、呉ベタニアホームの施設の紹介映像に続いて、法人を代表して統括施設長の里村佳子の「このコンサートで、多くの人と生きる勇気と希望を分かち合いたい」との挨拶でコンサートが始まりました。



レーナさんの7分間の紹介映像の後に、いよいよレーナさんの登場で、会場は静まり返りました。手足に重い障がいを持ちながら、明るく、にこやかに、みんなの前に登場し、日本語で挨拶され、讚美歌『輝く日を仰ぐ時』を全曲暗譜で歌われたことに、心を奪われました。次の曲は『上を向いて歩こう』で、みんなに、一緒に歌ってほしいとジエスチャアするのです。これで、会場みんなが融け合いました。「わたしは両親からないものに不満を持つのではなく、あるものに感謝するように育てられました」と語り、『一羽の雀』を歌いました。

1998年、長野パリンピックの開会式で歌ったレーナさんは、頼まれて善光寺の畳の上で、ゴスペルコンサートをし、『キリストには代えられません』を賛美したと話され、聴衆に

驚きと感動を与えました。『ジャパン・イン・マイ・ハート』の曲に、会場が手話をつけて応答するハプニングもありました。

レーナさんが、日本でのコンサートは、今年で25周年となり、そのことを感謝するサプライズも用意されていました。

アンコールの後、施設に入居して居られる98才の黒阪璋さんから、レーナさんに、花束が贈呈され、二人の間に暖かい心の交流がありました。(3番目の写真)

コンサートの最初から最後まで、レーナさんと聴衆の心が通い合い、レーナさんの歌声によって、心が洗われる、幸いなコンサートとなりました。